

研究課題名「慢性肝疾患患者における血清総胆汁酸値の臨床的意義」に関する情報公開

1. 研究の対象

2018年1月1日より2018年12月31日までに当院に受診された慢性肝疾患の方

2. 研究目的・方法・研究期間

(研究目的)

胆汁酸は肝臓における胆汁(肝臓で作られ、脂肪の吸収や毒物の処理に働く分泌物)産生、排泄という大事な機能を果たすのに大変重要な物質で、その血中濃度の測定は慢性肝疾患患者さんの診療に広く使われております。近年では胆汁酸を標的とした治療法の開発が特に脂肪肝やB型肝炎を対象に進められており、今後益々この値の意義が重要になってくると考えられます。本研究では慢性肝疾患の病態と血清総胆汁酸値の関連を検討、新たな意義を明らかにしていくのが目的になります。

(研究方法)

上記の期間内に当院に受診された慢性肝疾患患者さんの診療の際に採血したデータのうち、血清総胆汁酸値と、血清ALT、AST、ALP、 γ GTP、総ビリルビン値、血小板値、総コレステロール値、中性脂肪値、また診療情報として年齢、性別、原因疾患、肝硬変の有無等との関連を検討致します。

(研究期間)

実施承認日～2020年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

データ収集は、すべて電子カルテ上に記載された医師記録、経過表、画像検査や採血検査の結果からのみとします。診療上採取されたデータのみの使用で新たに検査等が追加されることはありません。

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 石上 雅敏

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 石上 雅敏

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL：052-744-2169

FAX：052-744-2178